

一定の公職にある者等からの職務に関する働きかけについての取扱要綱

(目的)

第1条 この要綱は、一定の公職にある者等から、職務の公正な執行を損なうおそれのある不当な働きかけを受けた場合の取扱いについて必要な事項を定めることにより、職員の職務執行における公正の確保及び透明性の向上を図り、もって教育行政に対する信頼を確保することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意味は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 職員 教育長並びに教育庁及び教育機関に所属する職員をいう。
- (2) 地方機関 教育事務所、埋蔵文化財センター、新設高校開校準備室及び教育機関をいう。
- (3) 一定の公職にある者等 次に掲げる者（その代理人を含む。）をいう。
 - ア 国会議員、大分県議会議員及び県内市町村議会の議員（当該職にあった者及び秘書を含む。）
 - イ 県内市町村の長（当該職にあった者及び秘書を含む。）
 - ウ 各種団体の役員
 - エ 職員及び県職員であった者
- (4) 不当な働きかけ 職員に対し、次に掲げる職務上の行為に関し、特定の者が有利又は不利となるような取扱いをするなど職務の公正な執行を損なうおそれのある行為（特定の者に事前に通知することを含む。）をするよう働きかけることをいう。
 - ア 職員（臨時的任用職員及び非常勤職員を含む。）の採用（校長の採用を含む。）、昇任及び転任に関すること。
 - イ 指導主事及び社会教育主事の選考に関すること。
 - ウ 入学試験に関すること。
 - エ 売買、貸付、賃借、請負、委託及び損失補償の契約に関すること。

(説明)

第3条 職員は、一定の公職にある者等から、不当な働きかけを受けた場合は、当該不当な働きかけの撤回を促すものとする。

- 2 前項の場合において、不当な働きかけが撤回されないときは、相手方に対し、当該不当な働きかけの内容を記録すること及び当該記録は大分県情報公開条例（平成12年大分県条例第47号）に基づく公開請求の対象となり原則として公開されることについて説明するものとする。

(記録及び報告等)

第4条 職員は、前条第2項の規定による説明をしたときは、記録票（別記様式）を作成し、所属長（当該職員が所属する課若しくは室の長又は地方機関の長をいう。以下同じ。）に提出するものとする。

- 2 前項の規定により記録票の提出を受けた所属長は、その内容を教育長に報告するとともに、当該記録票を総務課長に提出するものとする。

- 3 総務課長は、前項の規定により記録票の提出を受けたときは、必要に応じて当該不当な働きかけの内容に係る事務を所管する課若しくは室又は地方機関の長に、その内容を報告するものとする。
- 4 教育長は、第2項の規定により報告を受けたときは、速やかに教育委員会にその内容を報告するものとする。

(公表)

- 第5条 教育長は、不当な働きかけの件数及びその概要について、毎年度分を取りまとめて教育委員会ホームページ等において公表するものとする。
- 2 記録票について大分県情報公開条例に基づく公開請求があったときは、総務課長が公開の可否の決定等を行うものとする。

附 則

この要綱は、平成20年8月4日から施行する。